

ちょっと待って その話、本当??

特殊詐欺に注意しましょう

被害にあいやすいのは誰?

平日の昼間に詐欺が行われることが多く、その時間に自宅にいる可能性が高い70代以上の女性が主な被害者です。



自分は「絶対大丈夫」?

あらゆる手段で電話口の相手を信じ込ませ、最後には現金をだまし取ってしまう特殊詐欺被害は、後を絶ちません。近年では、金融機関や市役所職員などを名乗ったり、新型コロナウイルス感染症や給付金などの言葉を使用して、あたかも本当のように思わせるケースも多発しています。

自分は絶対に騙されないと考えていても、いざ電話がかかってきたら、その電話が本当の電話か、詐欺の電話か聞き分けられるのでしょうか。詐欺にあった人の多くは、「まさか自分が騙されるなんて」といいます。通常の状況ならば怪しいと判断できるものでも、判断力を失わせた状態で決断させるのが詐欺師の手口です。1人で判断せずに、必ず誰かに相談しましょう。

コロナ禍だからこそ、心のつながりが大切

自分や周りの人が詐欺にあわないためには、日ごろからのコミュニケーションが大切です。コロナ禍で帰省ができず、家族と連絡を取っていない人もいるかと思いますが、電話やLINEでもいいので、「変な電話がかかってきても聞いてあげよう」と話し合い、心のつながりを持ちましょう。

また、地域・職場のコミュニケーションも詐欺被害防止につながります。相談し合える環境を整えましょう。

最近の特殊詐欺では、警察などを名乗る者から電話(前兆電話)がかかる手口が多いです。前兆電話は、1本かかってきたらそのお宅の周辺に同様の電話がかかっている可能性が高く、犯人などが付近に潜んでいることも数多くあります。少しでも変だと感じた電話を受けたら、まずは警察に通報してください。あなたの電話が、誰かの詐欺被害を防ぎます。一緒に「素敵な街、蒲郡」の安心安全を守りましょう。

蒲郡警察署長
小池 勝孝

